南あわじ市で栽培したいちごを使ったスイーツの製造・販売

あわじ小林農園

◆所在地
兵庫県南あわじ市

◆お話を伺った方
代表　小林　剛彦
　　小林　真知

◆取組内容
・いちご、玉ねぎ、秋冬野菜の栽培
・主にいちごを使用した加工品の製造・販売
・直売所・カフェ「158（いちごや）ラボ」の運営



小林剛彦さん（右から２番目）、商品開発担当の小林真知さん（右から１番目）、あわじ小林農園の皆様

き　っ　か　け

◆ 規格外いちごを廃棄することに強いもったいなさを感じ、おいしいいちごを無駄なく活用したいと考えたことから、６次産業化に取り組んだ。

◆ いちごの魅力を理解してくれるお客様に、その価値に見合う価格で届けたいとの思いからブランド化に取り組む。2025年には加工施設を整備するとともに、期間限定で直売所・カフェとして営業する「158（いちごや）ラボ」を開設した。





いちごスムージー
けずりトッピング



淡路島しあわせ
いちごバター

取　組　内　容

◆ 加工品のラインナップは20種類以上。自ら栽培したいちごを使用した「けずりいちご」や「いちごスムージー」などをカフェで提供するほか、「しあわせいちごサンド」や「淡路島しあわせいちごバター」などをＪＡ直売所などで販売している。



しあわせいちごサンド

◆ いちごは、甘味や酸味、香り、果肉の硬さが異なる「おいCベリー」「あきひめ」「やよいひめ」の３品種を栽培。兵庫県認証食品である「ひょうご安心ブランド」を取得している。

◆ いちご狩りは年に数回実施。兵庫県の取組である「ひょうごオープンファーム」の登録施設として、たまねぎ植え付け体験と併せて開催することもある。

６次産業化のアドバイス

◆ 加工施設の整備を進める際は、製造品目によって求められる衛生基準が異なるため、事前に製造予定の商品をリストアップし、工事着手前に保健所としっかり相談した方がよい。

今　後　の　展　望

◆ 2026年６月に販売を開始した「淡路島しあわせいちごバター」の魅力発信に力を入れたい。また、「158ラボ」の拡張によりメニューの充実を図り、農園のいちごファンづくりにつなげていきたい。



愛情を込めて育てたいちご

2026年10月13日調査

（いちごと商品の画像提供：あわじ小林農園）